

【基本目標7】 住みたい地域をつくる

(1) 安心して豊かな暮らしの質の向上

関西屈指の居住環境を活かし、高水準の教育力・文化力、地域生活における安全安心、まちなみ空間の快適性の向上など、兵庫ならではの“暮らしの質”を充実する。

【主要事業の概要及びKPI】

基本目標 7-(1)① 高度で多彩な兵庫の教育の充実

【義務教育】

(上段：目標、下段：実績)

総括KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
「全国学力・学習状況調査」における 学力調査結果 (小・中) ※		全教科 全国平均以上	全教科 全国平均以上	全教科 全国平均以上	全教科 全国平均以上	
	小・中学校計8科目中、 全国平均を上回る科目 2科目、同等の科目4科 目、下回る科目2科目 (H26年度)	小・中学校計 10科目中、 上回る：4 同等：5 下回る：1				
達成率・評価		90.0% B				

【目標設定の考え方】各年度全国平均以上を目指す ※H31年度の目標値は次期ひょうご教育創造プラン策定時に設定

1 (新)市町スクールソーシャルワーカー配置の促進(教育委員会) 23,616千円

学校だけの解決が困難な課題に対応するため、児童生徒が置かれた環境に働きかけ、状況を改善するスクールソーシャルワーカーを、平成31年度までに全中学校区(政令市・中核市を除く37市町)に順次配置

- 資格要件 原則として、社会福祉士、精神保健福祉士の資格を有する者(福祉・教育分野で専門的な知識・技術を有する者でも可)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
スクールソーシャルワーカーの配置校区数	0校区(H27)	—	72校区	111校区	149校区	186校区
達成率・評価		—				

【目標設定の考え方】H31年度の全中学校区(政令市・中核市除く)での配置(186校区)を目指しH28年度は72校区に設定

2 学校・家庭・地域の連携協力推進事業(教育委員会) 159,073千円

地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく活動(=「地域学校協働活動」)を積極的に推進するため、従来の個別の教育支援活動の充実、総合化・ネットワーク化を図り、「支援」から「連携・協働」を目指す新たな体制を構築

- 市町による「地域学校協働本部」の全校区設置(7,310千円)
- 市町による「地域学校協働活動」支援(89,423千円)
 - ・学校教育支援活動、地域住民による学習支援
 - ・放課後等の体験・交流活動、土曜日の教育活動 等
- ICT機器やプロジェクタ等の整備(49,000千円)
- 市町による地域コーディネーターの配置(11,840千円)
- 県による地域コーディネーター研修等(1,500千円)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
地域住民による学校地域連携の 仕組みを有する小・中学校の割合 (政令市・中核市を除く)		70%	80%	90%	100%	100%
	66% (H26)	65%				
達成率・評価		92.9%				
		B				

【目標設定の考え方】平成30年度に全ての小中学校で仕組みができていることを目標に、各年度の目標を設定

3 小・中学校における「新学習システム」の推進（教育委員会）

児童生徒の発達段階に応じた教育を進め、多様な能力や個性の伸長を図るため、国の教職員定数改善等を最大限活用し35人数学級編制や柔軟な少人数学習集団の編成等を行う「新学習システム」を推進。特に小学校1～4年生では、基本的な学習習慣、生活習慣の定着に効果が高い「35人数学級編制」を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
小学校4年生までの 35人数学級編制の実施		実施	実施	実施	実施	実施
	実施 (H27)	実施				
達成率・評価		—				
		A				

【目標設定の考え方】各年度での実施を目指す

4 「兵庫型教科担任制」の実施（教育委員会）

小学校5・6年生において、学力向上や中学校への円滑な接続（小学校：学級担任制→中学校：教科担任制）を図るため、教科担任制と少人数学習集団の編成を組み合わせた「兵庫型教科担任制」を全県で実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
公立小学校高学年での 実施		実施	実施	実施	実施	実施
	実施 (H27)	実施				
達成率・評価		—				
		A				

【目標設定の考え方】各年度での実施を目指す

5 「体力アップひょうご」サポート事業（教育委員会）5,828千円

小学生の体力・運動能力の向上を図るため、専門性に優れた地域の指導者等を積極的に活用する小学校を70校に拡充し、「わかる」「できる」授業を創造するとともに児童の運動への興味・関心を高め、運動習慣の定着を促進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H33年度
昭和60年頃の子どもの体力 水準に達している項目数		6項目	11項目	11項目	11項目	11項目	22項目
	4項目 (H26)	5項目					
達成率・評価		83.3%					
		C					

【目標設定の考え方】体力・運動能力調査について、兵庫県スポーツ推進計画に定める「33年度に全調査項目（22項目）での水準達成」を目標に、31年度に半数で水準達成を目指す

【KPI未達成の理由等】小学校男子の握力と全校種の投能力に課題があるため、小学生の運動習慣の定着と教員の専門的指導力の向上を図る

6 体験教育の推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
環境体験事業、自然学校推進事業、地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施校数※1	100% (H26)	100%	100%	100%	100%	100%
達成率・評価		100.0%				
		A				
今住んでいる地域の行事に参加している割合 ※2	小学校 (H26) 県:65.0%、国:68.0%	全国平均以上 県 63.8% 国 66.9%	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
達成率・評価		95.4%				
		B				
今住んでいる地域の行事に参加している割合 ※2	中学校 (H26) 県:44.0%、国:43.5%	全国平均以上 県 44.9% 国 44.8%	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
達成率・評価		100.2%				
		A				

【目標設定の考え方】※1:引き続き各年度 100%実施を目指す

※2:各年度全国平均以上を目指す ※H31年度の目標値は次期ひょうご教育創造プラン策定時に設定

(1) 環境体験事業（教育委員会）91,293千円

命の大切さ、命のつながりなどを実感させ、「生きる力」の育成を図るため、栽培・飼育等地域の自然と触れ合う体験型環境学習を実施 [対象：全ての公立小学校3年生]

(2) 自然学校推進事業（教育委員会）391,700千円

心身ともに調和のとれた子どもの育成を図るため、豊かな自然の中で人や自然とふれあう様々な活動を実施 [対象：全ての公立小学校5年生、実施日数4泊5日以上]

(3) 地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施（教育委員会）190,222千円

地域や自然の中で、主体性を尊重した体験活動を通じて「生きる力」を育成するため、地域社会で1週間様々な社会体験活動を実施 [対象：全ての公立中学校2年生等]

(4) 青少年芸術体験事業～わくわくオーケストラ教室～（教育委員会）129,510千円

芸術文化に親しむ体験活動の充実を図り、中学生の豊かな心を育成するため、県立芸術文化センター管弦楽団による青少年鑑賞公演を実施 [対象：全ての公立中学校1年生（私立・国立中学生も参加可能）]

(5) 私立学校体験活動の実施（小学校環境体験活動事業）（企画県民）556千円

小学校3（4）年生による体験型環境学習を実施する私立小学校を支援

(6) 私立学校体験活動の実施（中学校社会体験活動推進事業）（企画県民）1,470千円

中学2（3）年生による勤労生産活動、勤労体験活動（トライやる・ウィーク）を実施する私立中学校を支援

7 (新) 伝統文化の学びの充実事業 (教育委員会) 1,860 千円

自らの国や郷土の伝統文化について理解を深め、尊重する態度を身につけるため、教育課程の開発・実践、地域指導者との連携など、教育課程に位置付けた学習を充実

○対象 県内小中学校のうちモデル校

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
今住んでいる地域の 行事に参加している 割合 ※2	小学校 (H26) 県:65.0%、国:68.0%	全国平均以上 県 63.8% 国 66.9%	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
達成率・評価		95.4% B				
今住んでいる地域の 行事に参加している 割合 ※2	中学校 (H26) 県:44.0%、国:43.5%	全国平均以上 県 44.9% 国 44.8%	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上
達成率・評価		100.2% A				

【目標設定の考え方】各年度全国平均以上を目指す ※H31年度の目標値は次期ひょうご教育創造プラン策定時に設定

8 学力の向上

(1) (拡) ひょうご学力向上推進プロジェクトの実施 (教育委員会) 3,653 千円

小・中学校における学力の確実な定着を図るため、全国学力・学習状況調査の結果等を踏まえた総合的な学力向上対策を推進。(小学校理科の授業改善に向けた取組を追加)

(2) (新) 学習支援ツール活用モデル事業 (教育委員会) 7,500 千円

児童生徒個々に応じた学習支援を行うため、Web 上の学習支援ツールで作成し習熟の程度に合わせた教材等の活用により、基礎学力の定着や発展的な学習等

【高校教育】

総括 KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
高校の魅力・特色を高 校選択の理由にした 生徒 ※1	76.7% (H27年度)	77.0% 76.7%	78.0%	79.0%	80.0%	
達成率・評価		99.6% B				
英検準2級以上相当 の英語力を有する高 校3年生の割合 ※2	42.6% (H26年度)	42.5% 42.0%	47.0%	48.0%	50.0%	
達成率・評価		98.8% B				

【目標設定の考え方】※1:H27年度を上回る80%(H30年度)を目指し、H28年度目標を78.0%に設定

※2:50%(H30年度:国目標=第2期教育振興基本計画)を目指し平成28年度目標を47.0%に設定

※H31年度の目標値は次期ひょうご教育創造プラン策定時に設定

9 特色ある高校づくり

(1) (新) 阪神地区高等学校における福祉科の設置 (教育委員会) 63,130 千円

人材不足が懸念される福祉分野に就業する人材育成を進めるため、福祉科の設置されていない阪神地区の県立高校に福祉科を設置する。

○設置校 武庫荘総合高校

○定員等 120名(1学年40名)、全県学区、H30年度開設

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
学科開設	—	—	基本設計	建築工事	学科開設	
達成率・評価		—				

【目標設定の考え方】事業実施スケジュールに基づき、平成30年度の学科開設を目標に設定

(2) (拡) 県立高校特色づくり推進事業～インスパイア・ハイスクール～ (教育委員会) 74,250 千円

学びたいことが学べる高校づくりを更に推進するため、各校の魅力・特色づくり等を支援 (SSH、SGH、SPH 指定校を目指す取組みへの支援を充実)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
インスパイア・ハイスクール事業 の実施割合	100% (H27)	100%	100%	100%	100%	100%
達成率・評価		100.0%				
		A				

【目標設定の考え方】引き続き各年度100%実施を目指す

(3) (拡) ひょうご学力向上サポート事業 (教育委員会) 2,437 千円

高等学校における学力向上対策を推進するため、生徒の実態や進路希望等が共通する学校が連携し、合同研究授業や共通教材作成などを推進 (アクティブ・ラーニングの手法を導入した学習・指導法の研究を追加)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
高校の魅力・特色を高校選 択の理由にした生徒の割合	76.7% (H27)	77%	78%	79%	80%	
達成率・評価		99.6%				
		B				

【目標設定の考え方】平成30年度新入生の80%が理由にすることを目指し、平成28年度目標を78%に設定

10 英語教育の充実

(1) 外国語指導助手 (ALT) による英語指導の充実 (教育委員会) 651,767 千円

外国語を用いた豊かな学力・コミュニケーション能力を育成するため、ネイティブの外国語指導助手 (ALT) の配置による英語教育の充実を推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
ALT の1学級あたりの 年間授業時間数	29.6 時間 (H26)	29.7 時間	30 時間	30 時間	30 時間	30 時間
達成率・評価		101.7%				
		A				

【目標設定の考え方】年間30時間以上(H29年度)の授業時間の確保を目指し、平成28年度目標を29.8時間に設定

(2) 高校生の留学促進事業（教育委員会）20,764千円

高校生の海外留学や国際的な職業への関心を喚起するため、世界で活躍する講師による講演会の開催や海外留学への支援を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
短期海外派遣留学支援者の充足率(国からの補助金の決定者数に対する支給対象者の割合)	80.2% (H26)	85% 91.7%	100%	100%	100%	100%
達成率・評価		107.9% A				

【目標設定の考え方】各年度の充足率100%を目指す

(3) スーパーグローバルハイスクールの展開（教育委員会）50,000千円

国際的に活躍できるグローバル・リーダーを育成するため、語学力養成とともに、先進的な人文科学・社会科学分野の教育に重点的に取り組む高等学校を指定

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
課題研究に関して企業や大学教員等の外部人材が参画した延べ人数	84名(H26)	360名 414名	360名	360名	360名	360名
達成率・評価		115.0% A				

【目標設定の考え方】1校あたり延べ90人の外部人材×4校(国指定事業に伴う目標値)

(4) ひょうごグローバル・リーダー育成事業（教育委員会）1,581千円

国際的に活躍できるグローバル・リーダーを育成するため、生徒がALTとの活動・宿泊生活等を通じて、「生きた英語」を学ぶとともに、論理的思考力や表現力の向上を推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
キャンプ前と比べて海外への興味関心が増加した生徒の割合	89.1% (H27)	89.1% 89.1%	93%	97%	100%	100%
達成率・評価		100.0% A				

【目標設定の考え方】H30年度の充足率100%を目指し、H28年度は93%に設定

11 地域の一員としての自覚形成

(1) 高校生ふるさと貢献活動事業（教育委員会）29,400千円

地域社会の一員としての自覚と態度を育むため、3年間を通して生徒が意識を高め主体的に地域へ参画する活動を、学校全体の教育活動として実施

○対象 全ての県立高等学校及び中等教育学校

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
高校生ふるさと貢献事業への県立高校生の参加割合	94% (H26)	96% 97%	98%	100%	100%	100%
達成率・評価		101.0% A				

【目標設定の考え方】H29年度の参加割合100%を目指し、H28年度は98%に設定

(2) **高校生就業体験事業～インターンシップ推進プラン～（教育委員会）4,927千円**
 社会人・職業人としての基礎的・基本的な資質・能力を育成するため、すべての生徒を対象に、職場や地域の企業等における就業体験を実施。

○事業所等におけるインターンシップ

○地域の職業人、キャリアアドバイザー等による進路講演会、職業ガイダンス等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全県立高等学校における就職希望者の就業体験事業の実施		100%	100%	100%	100%	100%
	68.5% (H26)	81.3%				
達成率・評価		81.3% C				

【目標設定の考え方】各年度100%の実施を目指す

【KPI未達成の理由等】生徒が希望する企業・業種と事業の対象となった企業・業種にギャップがあったため。生徒、学校の状況に応じて実施すべく、引き続き周知と理解を図る

12 私立学校教育の充実

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
私立高等学校の募集定員に対する充足率		88.5%	92.4%	96.2%	100.0%	100.0%
	88.5% (H27年度)	88.5%				
達成率・評価		100.0% A				

【目標設定の考え方】平成30年度の充足率100%を目指し、H28年度目標は92.4%に設定

(1) **(拡)私立高等学校等生徒授業料軽減補助（企画県民）640,828千円**

国の就学支援金制度に県単独加算を行い、低所得世帯に重点化した生徒の学資負担者の経済的負担を軽減（年収250万円以上～350万円未満世帯の補助拡充、年収350万円以上～590万円未満世帯の補助創設により、さらなる就学機会を確保）

○対象生徒・私立高校生（県内校通学者）

・私立高校生（大阪府・京都府・岡山県・鳥取県通学者）

・専修学校及び各種学校（高等課程相当）生徒（県内校通学者）

(2) **私立学校経常費等補助（企画県民）22,558,412千円**

私立高等学校、中学校、小学校、幼稚園（子ども・子育て支援新制度に移行しないものに限る）を設置する学校法人及び設置者に対し、経常的経費を補助

【大学】

総括KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
県内大学卒業生の県内企業への就職率		30.4%	31.0%	31.6%	32.3%	33.0%
	29.8% (H26年度卒業生)	29.8%				
達成率・評価		98.0% B				

【目標設定の考え方】H31年度に県内大学卒業生の3人に1人が県内企業に就職することを目指す

13-1 地域を担う人材育成 [県内大学]

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
大学コンソーシアム ひょうご神戸と県が 実施する就職連携事 業への参加学生数		536 人/年	652 人/年	768 人/年	884 人/年	1,000 人/年
	421 人/年 (H26)	543 人/年				
達成率・評価		101.3% A				

【目標設定の考え方】既存の事業に加え、合同企業説明会や地元企業見学ツアーなどにより、参加学生数を平成31年度1,000名にすることを目指し、段階的に各年度の目標を設定

(1) 「企業・大学・学生マッチング in Himeji」の開催 (企画県民)

新たな産学連携につながる機会や、学生が地元の優良企業や企業の最先端テーマに触れる機会を創出するため、企業による製品・技術の展示や大学による研究シーズや共同研究等の成果報告を実施

(2) (新)大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクト(企画県民)6,004千円

学生の地元意識を醸成するため、大学コンソーシアムひょうご神戸のネットワーク体制を活用し、大学キャリアセンターの情報発信力を充実

○大学キャリアセンターの情報発信力強化

大学キャリアセンター職員を対象に、中小企業合同の企業説明会(2回)、県内の隠れた名企業魅力発見ツアー(5回:地域ごと)等を開催

○大学生へのふるさと意識の醸成

大学1、2年生を対象に、県内企業魅力体感講座(2回)、企業若手社員による学生への啓発(1回)を実施

○大学間連携就職コーディネーターの配置

就活生ニーズの把握、県内中小企業情報の収集、大学キャリアセンターへ企業情報の提供、マッチング成果の発信等を行うコーディネーターを設置

13-2 地域を担う人材育成 [県立大学]

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
県立大学の知見を 活かす地域連携事 業の実施件数 ※1		81件/年	87件/年	93件/年	100件/年	
	75件/年 (H26年度)	83件/年				
達成率・評価		102.5% A				
COC+事業等による インターンシップ 参加者数 ※2		4,105 人/年	4,127 人/年	4,139 人/年	4,231 人/年	4,248 人/年
	3,917 人/年 (H26)	3,985 人/年				
達成率・評価		97.1% B				

【目標設定の考え方】※1: H30年度での100件実施を目指し、H28年度目標を87件に設定

(※H31年度の目標値は県立大学次期中期計画(H31~36)策定時に設定)

※2: 神戸大学、兵庫県立大学など主要大学の参加者数1割増加(H31)を目指しH28年度目標を4,127人に設定

(1) 地(知)の拠点整備事業 (COC 事業) の実施 (企画県民)

県内大学が地元自治体 (県及び 11 市町) と連携して、地域課題の解決に取り組むため、6つのプロジェクトを展開するとともに、これらプロジェクトフィールドを活用した地域志向型教育プログラムを導入

○事業名 ひょうご・地(知)の五国豊穰イニシアティブ

(2) 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+事業) の実施 (企画県民)

地方創生に向け学卒者の地元定着等を促進するため、大学が自治体や企業等との連携のもと、地域志向型の新たな教育プログラムを開発し、多様な地域課題に応える実践力を備えた人材を育成

○事業名 地域創生に応える実践力養成ひょうご神戸プラットフォーム

(申請大学：神戸大学 (県及び県立大等が事業協働機関として参画))

14 県立大学の個性化・特色化

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
県立大学入学に係る 志願者倍率 ※1		7.0 倍	7.0 倍	7.0 倍	7.0 倍	—
	7.0 倍 (H25-27 年度平均)	7.1 倍				
達成率・評価		101.4%				
		A				
中高大連携授業等の 実施回数 (累計) ※2		48 回	96 回	144 回	192 回	240 回
	48 回 (H26)	48 回				
達成率・評価		100.0%				
		A				

【目標設定の考え方】

※1：H25-27 年度の平均倍率 (7.0 倍) を確保 (H31 年度以降の目標値は中期計画策定時に設定)

※2：H31 年度までに 240 回 (累計) の連携授業の実施をめざし、段階的に各年度の目標を設定

(1) (新) 地域資源マネジメント研究科博士後期課程設置 (企画県民) 501 千円

コウノトリの野生復帰や山陰海岸ジオパークなどの地域資源の発掘・保全・活用を行う専門人材を育成するため、博士後期課程を開設 (平成28年4月)

○定員 6名 (2名×3年) ※修士課程：24名 (12名×2年)

○場所 豊岡ジオ・コウノトリキャンパス (県立コウノトリの郷公園)

(2) (新) 減災復興政策研究科 (仮称) の開設準備 (企画県民) 49,845 千円

阪神・淡路大震災の経験と教訓、復興の知見等を踏まえ、減災社会や復興に貢献する専門人材を育成するため、大学院修士課程の設置に向けた設備工事や備品整備等を実施 (平成 29 年 4 月開設予定 (H28.3 認可申請))

○定員 24 名 (12 名×2 年)

○場所 人と防災未来センター東館内 (神戸市中央区)

(3) 附属中学校・高等学校の維持運営 (企画県民) 114,493 千円

県立大学との緊密な連携のもと、科学技術における学術研究機能の後継者や国際感覚豊かな創造性溢れる人材の育成をねらいとした教育を推進

15 県立大学のグローバル教育の充実

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
海外留学生数 (派遣人数) ※1		117人	128人	139人	150人	-
	109人 (H25-H26 平均)	162人				
達成率・評価		138.5%				
		A				
海外留学生数 (受入人数) ※2		237人	258人	279人	300人	-
	170人 (H24-H26 平均)	170人				
達成率・評価		71.7%				
		C				

【目標設定の考え方】 ※1：H24年度派遣実績(84人)のおよそ倍増(150人)を目指し、平成28年度目標を128人に設定

※2：H24年度受入実績(174人)のおよそ倍増(300人)を目指し、平成28年度目標を258人に設定

※平成31年度目標は次期中期計画(H31~36)策定時に設定

【KPI未達成の理由等】全体として減少傾向にあり、特に大宗を占める中国からの受入人数が減少傾向にある。一方で、マレーシア、ベトナムなど東南アジアからの留学生が増えていることから、引き続き、多様な国からの留学生確保に努めるなど、目標達成に向けて取り組む

(1) (拡)グローバルリーダー教育プログラムの開発 (企画県民)

国際社会や地域で活躍できる人材育成のため、実践的英語力、コミュニケーション力やグローバルリーダーに必要な素養の習得を目指す「グローバル教育ユニット」等を実施

○ユニット受講枠：100人（東地区：60人 経済・経営・看護学部）

（西地区：40人 工学・理学・環境人間学部）

(2) (拡)「国際化体験プログラム」の実施 (企画県民)

全学のグローバル化を推進するため、県立大学海外事務所（県海外事務所に設置）を拠点とした学生のインターンシップ派遣や、海外大学との交流協定に基づく海外派遣等を展開（派遣者数の増加による海外留学の充実強化）

(3) 経済・経営学部における国際キャリア教育の実施 (企画県民)

○経済学部 国際キャリアコース

世界に飛び立ち国際的に活躍する人材を育成するため、実践的な英語コミュニケーション力や英語での経済学の専門知識と分析能力を習得

○経営学部 グローバルマネジメントコース

グローバル・ビジネスパーソンの育成を図るため、英語による国際ビジネス系の専門科目や、企業と連携した実践的英語力育成講座の履修を通じた国際交渉力を習得

16 県立大学を中核とした産学連携の強化

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
県立大学における共同・受託研究件数(累計) ※1	197件 (H26累計)	205件	210件	215件	220件	—
達成率・評価		101.0% A				
県立大学における科研費等外部資金の獲得額 ※2	19.6億円 (H26)	22億円 19.2億円	23億円	24億円	25億円	—
達成率・評価		87.3% C				

【目標設定の考え方】 ※1：中期計画のH30年度目標220件(累計)をめざし、H28年度目標を210件(累計)に設定

※2：外部資金獲得額の毎年度約1億円増加を目指し、平成28年度目標を23億円に設定

※平成31年度目標は次期中期計画(H31～36)策定時に設定

【KPI未達成の理由等】 全分野において更なる獲得努力が必要なため大型外部資金の獲得に向けた研究に対し助成を実施

(1) 計算科学連携センターを拠点とした産学連携の取組(企画県民)

研究・交流活動を促進するため、理化学研究所が設置する「京」をはじめ、スーパーコンピュータ分野で国内の大学・研究機関との連携を推進

(2) (新)医療とものづくり産業を結ぶ医・産・学連携拠点の形成(企画県民) 40,498千円

医療産業の発展と県内ものづくり産業の活性化を図るため、県立大学が医用工学の先端研究成果を活用し、医療機関及びものづくり企業等と連携し医産学連携の取組を展開

○医産学連携拠点(姫路駅前)の運営

・医療機器等の開発・改良に関する企業への技術相談・情報提供、共同研究開発のマッチング支援等

○医療現場における先端医療機器共同研究開発

・医産学連携拠点からのフィードバック情報を活用した先端医療機器等の共同研究開発

○医産学連携推進の体制整備(研究コーディネーター、研究開発支援員の設置)

(3) (拡)産学連携協定に基づく地域産業活性化の取組(企画県民)

地域での産学連携を進めるため、地元産業界等との交流・連携を推進する「産学連携・研究推進機構」において、地域や経済団体等(兵庫工業会、神姫バス、姫路市)との協定締結などのさらなる実施

(4) (拡)姫路工学キャンパスの整備(企画県民) 1,422,390千円

県立大学工学部・工学研究科が持つ強みを更に生かすため、最先端工学研究、人材育成、地域支援の拠点を整備

○整備内容 教育研究・先端研究施設等の6施設を整備(延床面積約34,000㎡)

○整備期間 H26～35年度(10年間)

○H28年度 ・第1号館：工事实施

・新本館・設備棟：ネットワーク、セキュリティ管理システム整備等

基本目標7-(1)② 県立芸術文化センター等を核とした芸術文化の振興

総括KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
住んでいる市・町で芸術文化に接する機会があると思う人の割合※1	40.7% (H26)	41.0%	42.0%	44.0%	46.0%	48.0%
達成率・評価		97.3% B				
住んでいる地域で自慢したい地域の宝(風景や産物、文化等)があると思う人の割合※2	49.3% (H26)	50.0%	51.0%	53.0%	55.0%	57.0%
達成率・評価		97.6% B				

【目標設定の考え方】 ※1：過去最高の実績（平成21年：46.9%）を上回ることを目指し、段階的に割合を増加
※2：過去最高の実績（平成19年：50.1%）を上回ることを目指し、段階的に割合を増加

1 (新)県立美術館・博物館の魅力発見事業(教育委員会・企画県民)1,900 千円

住民が質の高い芸術文化を身近に感じられる地域づくりを目指すため、県立美術館・博物館が館の特色を生かしながら、企画展の見所、魅力等を紹介することで、県民が美術館・博物館に親しみ、楽しむ機会を創出

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
イベント開催回数	—	—	7回	7回	7回	7回
達成率・評価		—				

【目標設定の考え方】 毎年、主な県立美術館・博物館等7館で開催

2 青少年芸術体験事業～わくわくオーケストラ教室～(教育委員会) 129,510 千円

芸術文化に親しむ体験活動の充実を図り、中学生の豊かな心を育成するため、県立芸術文化センター管弦楽団による青少年鑑賞公演を実施

○対象 全公立中学校1年生(私立・国立中学生も参加可能)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
実施校数	99% (H26)	100%	100%	100%	100%	
達成率・評価		100.0% A				

【目標設定の考え方】 各年度100%実施を目指す ※H31年度の目標値は次期ひょうご教育創造プラン策定時に設定

3 アートde元気ネットワーク in 兵庫・神戸推進事業(企画県民) 1,387 千円(芸術文化振興基金)

地域における芸術文化鑑賞の機会を提供するため、神戸ビエンナーレや丹波篠山まちなみアートフェスティバルなど、地域で特色ある芸術祭の連携を推進

- アートde元気ネットワーク推進会議の開催(構成員:関係団体代表者、学識経験者、県)
- 芸術祭と地域の情報と魅力発信事業 ○芸術祭への盛り上げ隊の派遣(3か所150人程度)
- 大学生の参加による魅力発信事業

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
参加団体数		9 団体	10 団体	11 団体	12 団体	14 団体
	7 団体 (H26)	9 団体				
達成率・評価		100.0%				
		A				

【目標設定の考え方】参加団体の倍増を目指し、毎年順次増加

4 ふるさと芸術文化発信サポート事業（企画県民）5,000 千円（芸術文化振興基金）

県内の芸術文化活動を活性化するため、地域固有の文化資源を生かして行われる芸術文化活動への支援を実施

○補助対象者 県内に拠点を有する芸術文化団体、実行委員会、グループ等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
新規補助件数		12 件	13 件	14 件	15 件	15 件
	12 件 (H26)	12 件				
達成率・評価		100.0%				
		A				

【目標設定の考え方】実績を踏まえ、毎年1件ずつ新規の補助件数を増加

5 (拡)ひょうごの芸術文化育成・支援事業（企画県民）7,540 千円（芸術文化振興基金）

県内の芸術文化活動を活性化するため、芸術文化団体、若手芸術家等の活動を支援

○芸術文化活動育成・支援事業

- ・補助対象者 県内に拠点を有し一定の芸術文化活動の経歴を有する個人、グループ
- ・補助対象分野 音楽、演劇の公演、美術作品の展示、文芸作品出版 等

○(新)芸術文化にふれるきっかけづくり応援事業

- ・補助対象者 県内の商店街、駅、病院等の公開スペースで芸術公演事業を主催する者
- ・補助対象分野 音楽、演劇、舞踊等の公演

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
補助件数		79 件	103 件	107 件	111 件	115 件
	85 件 (H26)	75 件				
達成率・評価		94.9%				
		B				

【目標設定の考え方】実績を踏まえ、毎年4件ずつ補助件数を増加

【KPI 未達成の理由等】例年に比べ実施規模の大きい団体等が増えたため、件数は減少。今後も同様に取組む

6 伝統文化の継承・発展

(1) (新)伝統文化の学びの充実事業（教育委員会）1,860 千円

自らの国や郷土の伝統文化について理解を深め、尊重する態度を身につけるため、教育課程の開発・実践、地域指導者との連携など、教育課程に位置付けた学習を充実

○対象 県内小中学校のうちモデル校

【基本目標7】住みたい地域をつくる [(1) 安心して豊かな暮らしの質の向上]

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
今住んでいる地域の 行事に参加している 割合 ※2	小学校 (H26) 県:65.0%、国:68.0%	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
		県 63.8% 国 66.9%				
達成率・評価		95.4% B				
今住んでいる地域の 行事に参加している 割合 ※2	中学校 (H26) 県:44.0%、国:43.5%	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
		県 44.9% 国 44.8%				
達成率・評価		100.2% A				

【目標設定の考え方】各年度全国平均以上を目指す ※H31年度の目標値は次期ひょうご教育創造プラン策定時に設定

(2) 子ども伝統文化わくわく体験教室（企画県民）6,280千円（芸術文化振興基金）

生活に根付いた伝統文化を次代に継承するため、県域文化団体が講師を派遣し、学校において子どもたちがいけばな・茶道・書道・邦楽・能楽等を体験する事業を支援

○対象 小・中・高

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
実施校数	—	30校	45校	45校	60校	60校
		30校				
達成率・評価		100.0% A				

【目標設定の考え方】実績を踏まえ、対象ジャンルを2年ごとに拡充し、実施校数を増加

(3) 伝統文化体験事業（企画県民）2,146千円（芸術文化振興基金）

県民の伝統文化に対する関心を高めるため、実演や体験コーナーを交えてその魅力を紹介する「伝統文化体験フェスティバル」のほか、体験教室や展覧会を実施

区分	①伝統文化体験フェスティバル	②伝統文化体験教室
時期	平成28年度内の土日(2日間)	通年
場所	兵庫県公館	兵庫県公館(和風会議室)
対象	児童、生徒、親子連れ等	
参加団体 (講師、演者)	<ul style="list-style-type: none"> ・県域文化団体(15団体)〈いけばな、書作家、吟詠、民俗芸能等〉 ・ゲスト(兵庫県水墨画協会、むかしあそび研究会等) 	

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
参加者数※1	2,442人 (H26)	2,500人	2,600人	2,700人	2,800人	3,000人
		2,152人				
達成率・評価		86.1% C				
実施回数※2	9回(H26)	10回	11回	12回	13回	15回
		10回				
達成率・評価		100.0% A				

【目標設定の考え方】※1：実績を踏まえ、毎年100人ずつフェスティバルの参加者を増加

※2：実績を踏まえ、毎年1回ずつ教室の実施回数を増加

【KPI未達成の理由等】※1 会場である公館全面工事の影響により来場者が減少。今後は一層PRに努める

7 歴史・文化遺産の保護・活用

(1) (新)ひょうごの遺産魅力発見事業（教育委員会）777千円

本県の歴史・文化の魅力発信に資する「日本遺産」の認定を増やすため、広域的な視点で調査研究を行うとともに、認定を目指す市町が行う連携協議会の運営、外部研究員による現地調査などを支援

○内容 「日本遺産」のストーリーづくりに必要となる、地域の歴史的経緯や歴史的
魅力について、学術的な指導や助言ができる研究員を派遣

○支援対象例 銀の馬車道（銀の馬車道ネットワーク協議会）、国生み神話（淡路島日本遺産委員会）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
市町の申請相談のべ件数	4件 (H27)	4件	8件	12件	16件	20件
達成率・評価		100.0% A				

【目標設定の考え方】H27年度の実績（4件）を毎年度の目標に設定

(2) 考古楽者養成事業（教育委員会）

県民の地域文化への関心を深めるため、考古学の基礎的な知識を有し、博物館の事業運営に携わるとともに、歴史文化遺産保護活用のリーダーとして活動できる人材を育成

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
考古博物館におけるボランティア(考古楽者)研修修了人数	331人 (H26)	348人	365人	382人	400人	
達成率・評価		99.7% B				

【目標設定の考え方】実績を踏まえ、毎年約20名ずつ研修修了生を輩出

※H31年度の目標値は次期ひょうご教育創造プラン策定時に設定

(3) 文化遺産を活かした地域活性化の推進（教育委員会）

地域の宝である文化財をより広く周知するとともに、県民の身近な存在として捉えられるよう、県や各市町で取り組む文化財に関する各種行事について、広報活動を展開

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
「ひょうごヘリテージマンス」における歴史文化遺産を活用した事業数	140件 (H26)	155件	170件	185件	200件	
達成率・評価		100.0% A				

【目標設定の考え方】実績を踏まえ、毎年15件ずつ事業件数を拡大

※H31年度の目標値は次期ひょうご教育創造プラン策定時に設定

8 芸術文化施設の事業展開・機能強化

(1) (拡) 芸術文化センターの事業展開・機能強化（企画県民）2,439,553千円

（県単等2,072,561千円、国庫16,992千円、芸術文化センター事業基金350,000千円）

心の復興・文化の復興のシンボルとして、また、自ら創造し、県民とともに創造するパブリックシアターとして、様々な事業を実施

○プロデュースオペラ等創造・公演事業、新国立劇場との連携公演の実施

○芸術文化センターの機能充実（音響・照明機器の更新、バリアフリー化等）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
入館者数	48万人 (H26)	50万人	50万人	50万人	50万人	50万人
達成率・評価		100.0%				
		A				

【目標設定の考え方】9割超の稼働率であり、現行の入館者規模を維持

(2) 県立美術館－「芸術の館」－の事業展開（教育委員会）243,567千円

人間のこころの豊かさの回復・復興を目指し、魅力ある展覧会を開催するとともに、県立美術館の元気づくり事業（こどもの来館促進、アウトリーチ活動等）を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
県立美術館入館者数	743,891人 (H26)	770,000人	800,000人	840,000人		
達成率・評価		73.2%				
		C				

【目標設定の考え方】平成21から23年度実績平均並

※H30年度以降の目標値は次期「全県ビジョンフォローアップ指標」策定時に設定

【KPI未達成の理由等】特別展の入館者数が目標に達しなかったため。今後、より一層の広報に努める

(3) 横尾忠則現代美術館の事業展開（企画県民）24,000千円

横尾忠則氏の作品を通じて、現代美術に触れることのできる場として、展覧会や公開制作など多彩な事業を展開

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
横尾忠則現代美術館入館者数	60,192人 (H26)	70,000人	70,000人	70,000人	70,000人	70,000人
達成率・評価		84.5%				
		C				

【目標設定の考え方】年間入館者7万人を目指し、毎年順次実施

【KPI未達成の理由等】27年度から特別展を4回から3回に変更したため。ホプススタジオ等を活用した販わいづくりに一層努める

(4) (拡) 兵庫陶芸美術館の事業展開（企画県民）89,540千円

陶芸に関する県民の教養を高め、陶芸文化の発展に寄与するため、陶芸をテーマとした展覧会等を開催するとともに、新たに、篠山方面直通バスの運行実験事業を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
兵庫陶芸美術館施設内入場者数	98,735人 (H26)	130,000人	140,000人	150,000人	150,000人	150,000人
達成率・評価		90.0%				
		B				

【目標設定の考え方】年間入場者15万人を目指し、毎年1万人ずつ増加

(5) (拡) 尼崎青少年創造劇場の事業展開 (企画県民) 132,976 千円 (CSR 基金)

青少年の自由な創造活動を促進し、県民文化の高揚を図るため、鑑賞劇場事業等に加え、新たにピッコロ劇団の市町ホール公演を実施

○鑑賞劇場等事業 (132,976 千円)、劇団運営 (182,399 千円)、わくわくステージ (15,725 千円)

○(新) ピッコロ劇団アウトリーチ事業 (市町ホール公演事業) (3,450 千円)

但馬・西播磨・淡路地域などにおいて、生の演劇に触れる機会を創出するため、地域の市町ホールを活用し、ピッコロ劇団による公演を実施 (2 公演)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
入館者数 ※1	131,374 人 (H26)	132,000 人 130,843 人	133,000 人	134,000 人	135,000 人	135,000 人
達成率・評価		99.1% B				
市町ホール公演回数 ※2	—	—	2 回	2 回	2 回	2 回
達成率・評価		— —				

【目標設定の考え方】※1：年間入場者 13.5 万人を目指し、毎年 1 千人ずつ増加

※2：生の演劇に触れる機会が少ない圏域での実施を目指し、毎年順次実施

(6) (拡) 考古博物館の事業展開 (教育委員会) 41,829 千円

県内の遺跡・考古資料の調査研究、特別展等の開催、考古博物館分館 (古代中国鏡展示施設) の開館準備など、参加体験型・ネットワーク型の博物館活動を展開

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
県立考古博物館入館者数	157,758 人 (H26)	158,500 人 133,630 人	159,300 人	160,000 人		
達成率・評価		84.3% C				

【目標設定の考え方】平成 21 から 23 年度実績平均並

※H30 年度以降の目標値は次期「全県ビジョンフォローアップ指標」策定時に設定

【KPI 未達成の理由等】特別展・企画展の入館者数が目標に達しなかったため。今後より一層広報や企画に努める

(7) 歴史博物館の事業展開 (教育委員会) 48,911 千円

県民の交流・学びの場となる「交流博物館」として、魅力ある特別展、ひょうごの歴史研究 (播磨風土記、赤松氏と播磨の山城、たたら製鉄と千種鉄) 等を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
県立歴史博物館入館者	119,941 人 (H26)	124,000 人 107,688 人	128,000 人	133,000 人		
達成率・評価		86.8% C				

【目標設定の考え方】平成 21 から 23 年度実績平均並

※H30 年度以降の目標値は次期「全県ビジョンフォローアップ指標」策定時に設定

【KPI 未達成の理由等】特別展・企画展の入館者数が目標に達しなかったため。今後より一層広報や企画に努める

基本目標7-(1)③ 東京オリンピック・パラリンピック競技大会、関西ワールドマスタースゲームズ2021等を見据えたスポーツの振興

総括KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H33年度 (目標達成年度)
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめとした国内外の主要な大会で活躍する本県選手の育成・強化※1	398人/年 (H26年度)	484人/年	500人/年	520人/年	540人/年	560人/年	600人/年
達成率・評価		81.6% C					
全県域の障害者スポーツ大会参加選手の増加※2	12,356人/年 (H26年度)	11,400人/年	12,000人/年	12,600人/年	13,200人/年	13,800人/年	15,000人/年
達成率・評価		116.6% A					
年間を通じてスポーツを実施する成人の割合(週1回以上)※3	48.7% (H26年度)	63.7%	65.0%	66.7%	69.0%	70.7%	75.0%
達成率・評価		100.6% A					

【目標設定の考え方】 ※1：平成33年の600人を目指し(兵庫県スポーツ推進計画)、毎年20人ずつ増加
 ※2：平成33年の1.5万人を目指し(兵庫県スポーツ推進計画)、毎年400人ずつ増加
 ※3：平成33年の75%を目指し(兵庫県スポーツ推進計画)、毎年段階的に増加
 【KPI未達成の理由等】 ※1：今後の成長度も踏まえ丁寧な育成を図る必要があり、引き続き目標人数の達成に努める。

1 第2期新兵庫県競技力向上事業～世界にはばたけ兵庫プロジェクト～(教育委員会)

226,482千円

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、トップアスリート層の拡大、ジュニア選手の発掘・育成、若手指導者の資質向上を図るため、系統的な指導体制を構築

- 第2期兵庫県競技力向上事業－世界にはばたけ兵庫プロジェクト(重点競技強化、選手育成)
- 未来のスーパーアスリート支援事業(スーパーアスリート養成、医・科学サポート、能力発掘)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H33年度
国民体育大会男女総合成績	12位(H27)	8位以内 12位	8位以内	8位以内	8位以内	8位以内	8位以内
達成率・評価		— B					

【目標設定の考え方】過去最高の実績(天皇杯8位)を継続する(兵庫県スポーツ推進計画)

2 (拡)東京オリンピック・パラリンピック事前合宿招致事業(教育委員会)2,242千円

県のスポーツ振興や地域活性化を推進するため、東京オリンピック・パラリンピック事前合宿を積極的に招致

- パンフレットの作成
- (新)中央競技団体等への広報、(新)国内各種国際競技大会での広報等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
事前合宿招致		—	—	—	—	可能な限り 多くの国
達成率・評価		—				

【目標設定の考え方】可能な限り多くの国を招致

3 (拡) 障害者スポーツ推進プロジェクト（健康福祉）34,283千円

2020年の東京パラリンピックに向け、ひとりでも多くの日本代表選手を本県から輩出することを目指すとともに、障害者スポーツの普及啓発、スポーツを通じた障害のある方の社会参加を促進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
パラリンピック選手発掘・普及啓発事業参加者数		300人/年	350人/年	400人/年	450人/年	500人/年
達成率・評価		158.3% A				

【目標設定の考え方】毎年度50人以上の参加者数増加を目指し、段階的に目標を設定

4 障害者のじぎくスポーツ大会開催事業（健康福祉）4,624千円

障害者スポーツの振興、障害者の社会参加と県民の障害者への理解促進のため、障害者スポーツ大会を開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
障害者のじぎくスポーツ大会参加者数		4,500人/年	4,500人/年	4,500人/年	4,500人/年	4,500人/年
達成率・評価	4,241人 (H26)	4,564人/年 101.4% A				

【目標設定の考え方】平成27年度以降、実績を上回る4,500人を達成できるよう目標を設定

5 全国車いすマラソン大会開催事業（健康福祉）4,274千円

身体障害者の体力の維持増進、社会参加意欲の高揚を図るとともに、広く県民の参加のもとに障害者に対する理解を深め、身体障害者の福祉の向上に資するため、全国からの参加による車いすマラソン大会を9月に篠山市で開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
大会参加選手数		91人/年	93人/年	95人/年	97人/年	100人/年
達成率・評価	91人 (H27)	91人/年 100.0% A				

【目標設定の考え方】平成31年度に100人の参加が実現できるよう、段階的に目標を設定

6 「日本スポーツマスターズ2017 兵庫大会」の開催（教育委員会）7,094千円

競技志向の高いシニア世代を対象とした、総合スポーツの祭典「日本スポーツマスターズ2017兵庫大会」の開催に向け、実行委員会を設立し、開催に向けた準備等を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
大会開催	—	—	—	大会開催	—	—
達成率・評価	—	—	—	—	—	—

【目標設定の考え方】平成29年の大会開催を目指す

7 「関西ワールドマスターズゲームズ2021」の開催（教育委員会）14,000千円

生涯スポーツの国際総合競技大会「関西ワールドマスターズゲームズ2021」の開催に向け、組織委員会と連携して準備を推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H33年度 (目標達成年度)
大会開催	—	—	—	—	—	—	大会開催
達成率・評価	—	—	—	—	—	—	—

【目標設定の考え方】平成33年の大会開催を目指す

8 「関西マスターズスポーツフェスティバル」の開催（教育委員会）7,476千円

生涯スポーツのすそ野を拡大するため、「関西ワールドマスターズゲームズ2021」開催に向け、誰でも参加できる「関西マスターズスポーツフェスティバル」等を開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H33年度 (目標達成年度)
大会数	63大会 (H26)	71大会 70大会	75大会	80大会	85大会	90大会	100大会
達成率・評価	—	98.6% B	—	—	—	—	—

【目標設定の考え方】兵庫県スポーツ推進計画に基づき、本大会開催（平成33年）までに、100大会を目指す

9 「神戸マラソン」の開催（教育委員会）67,800千円

スポーツのさらなる振興を図り、震災の復旧・復興における経験と教訓、兵庫・神戸の魅力国内外に発信するため、第6回神戸マラソンを神戸市と共同で開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
毎年度実施	実施 (H27)	実施 実施	実施	実施	実施	実施
達成率・評価	—	— A	—	—	—	—

【目標設定の考え方】参加者のニーズを踏まえ、毎年継続開催

10 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト（教育委員会）2,927千円

生涯スポーツの核となる「スポーツクラブ21ひょうご」について、全県スポーツ大会等を通じてクラブの連携を促進し、活動の活性化等を図るなど自立に向けた取組を支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H33年度 (目標達成年度)
スポーツクラブ 21 ひとよごの会員数		43.5 万人	45 万人	47 万人	49 万人	51 万人	55 万人
	36.3 万人 (H26)	35.6 万人					
達成率・評価		81.8% C					

【目標設定の考え方】 H33年の55万人（兵庫県スポーツ推進計画）を目指し、毎年1.5-2万人ずつ増加

【KPI未達成の理由等】 少子化の影響で新規会員が減少。クラブの運営基盤安定を目指した発展的統合や、効果的な広報活動等を推進し、会員増を図る

11 県立施設のスポーツ施設の整備（まちづくり）

県民が身近に利用できるスポーツ施設の拠点を確保するため、県立都市公園においてスポーツ施設を整備

○事業内容 淡路佐野運動公園 屋内練習場

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
県立都市公園で整備したスポーツ施設数(累計)		34施設	34施設 (着手1施設)	34施設	35施設	35施設
	34施設 (平成26年度)	34施設				
達成率・評価		100.0% A				

【目標設定の考え方】 H30年度 35施設整備に向け、H28年度目標を1施設の整備着手に設定

基本目標7-(1)④ 体感治安の向上

総括 KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
体感治安(住んでいる地域は、治安がよく、安心して暮らせると思う人の割合) ※1		78.2%を上回る	79.6%を上回る	81.0%を上回る	82.4%を上回る	82.4%を上回る
	78.2% (H27年度)	78.2%				
達成率・評価		99.9% B				
刑法犯認知件数 ※2		減少傾向を維持	減少傾向を維持	減少傾向を維持	減少傾向を維持	減少傾向を維持
	64,911件 (H26年)	59,374件				
達成率・評価		109.3% A				

【目標設定の考え方】 ※1：H30年度での過去最高の実績(H25:82.4%)を目指し、平成28年度は79.6%以上に設定

※2：減少傾向を続ける実績を踏まえ、今後も減少傾向の維持を目指す

※第4期地域安全まちづくり推進計画に基づき、目標値を改定

1 (拡) 地域安全まちづくり活動活性化事業（政策創生）3,415千円

地域住民を中心とした地域安全まちづくり活動の活性化を図るため、まちづくり防犯グループの活動を支援

- 地域安全まちづくり推進員の設置
- (新) 元気な高齢者や女性による地域安全まちづくり活動の推進
- (新) 大学との地域安全まちづくり活動推進協定の締結
- (新) 地域安全マップの作成支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
まちづくり防犯 グループ結成数	2,364グループ (H26)	2,400グループ 2,358グループ	2,430グループ	2,460グループ	2,500グループ	2,500グループ
達成率・評価		98.3% B				
地域安全まちづ くり推進員数	2,124人 (H26)	2,600人 3,817人	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人
達成率・評価		146.8% A				

【目標設定の考え方】※1：H30年度での結成数2,500グループを目指し、平成28年度は2,430グループに設定
※2：H30年度での推進員数3,000人の維持を目指し、平成28年度は3,000人に設定

2 地域で守る！子どもの安全安心確保事業（政策創生）5,759千円

家庭・学校での安全対策に加え、帰宅後の子どもの安全のため、地域が一体となって子どもを見守る体制を推進

- 地域での見守り活動のリーダー役として子どもの安全・安心確保のリーダーを養成
- 不審者対応訓練等を行う防犯グループ等に対して助成 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
子どもの安全・安心確 保のリーダー養成数	0人(H26)	625人 1,271人	1,500人	1,850人	2,500人	2,500人
達成率・評価		203.4% A				

【目標設定の考え方】まちづくり防犯グループから1人ずつの養成(H30:2,500人)を目指しH28年度は1,500人に設定

3 ひょうご地域安全 SOS キャッチ事業（政策創生）7,176千円

○身近な異変を匿名でも通報できるよう、「ひょうご地域安全 SOS キャッチ電話相談」の実施
〔開設時間：9:00～16:00(土日祝、年末年始除く)電話 078-341-1324(いざつーほー)〕

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
地域安全 SOS キャッチ 電話相談のつなぎ件数	1,117件 (H26)	1,650件 1,753件	2,250件	2,850件	3,450件	4,050件
達成率・評価		106.2% A				

【目標設定の考え方】月間50件(年間600件)のつなぎ件数の維持を目指しH28年度はH25.7からのべ2,250件に設定

4 (拡)防犯カメラ設置補助事業（政策創生）40,000千円

地域の見守り力の向上を図るため、地域安全マップの作成を要件に、まちづくり防犯グループ等の地域団体が行う防犯カメラの設置に要する経費の一部を助成

- 補助箇所数 500箇所 (H27年度：400箇所)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
防犯カメラ補助数	1,106箇所 (H26)	1,500箇所 1,498箇所	2,000箇所	2,400箇所	2,800箇所	3,000箇所
達成率・評価		99.9% B				

【目標設定の考え方】H31年度3,000箇所の補助を目指しH28年度はのべ2,000箇所に設定

5 地域安全まちづくり事業（政策創生）1,383 千円

地域における犯罪発生を抑止するため、県警との連携のもと、地域住民を中心とした自主的な地域安全まちづくり活動を活性化

- ひょうご地域安全まちづくり推進協議会の運営支援
- 地域安全兵庫県民大会の開催
- ひょうご地域安全まちづくり活動賞の表彰

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
まちづくり防犯グループ結成数	2,364グループ (H26)	2,400グループ 2,358グループ	2,430グループ	2,460グループ	2,500グループ	2,500グループ
達成率・評価		98.3% B				

【目標設定の考え方】H30年度での結成数2,500グループを目指し、平成28年度は2,430グループに設定

6 客引き行為等の防止に関する条例の推進(政策創生)15,350 千円

誰もが安心して公共の場所を通行し、利用できるよう制定した同条例の周知を図るとともに、県警や市町等との連携のもと巡回・指導を実施するなど歓楽街等の環境浄化を推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
指導等件数	91件 (H27)	91件 91件	210件	330件	450件	570件
達成率・評価		100.0% A				

【目標設定の考え方】年間120件（月10件）の指導件数を目指す

7 (拡)「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の推進（政策創生）9,588 千円

平成27年4月に施行された「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を踏まえ、自転車交通安全対策を実施

- 教育指導教材の作成・配付
- (新)自転車保険加入状況の把握と啓発
- (新)高校生（通学生）への自転車教育の実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
自転車関係事故件数※1	6,821件 (H26)	減少傾向を維持 6,205件	減少傾向を維持	減少傾向を維持	減少傾向を維持	減少傾向を維持
達成率・評価		— A				
自転車保険加入率※2	24.3% (H25)	—	加入率のアップ 60.0%	加入率のアップ	加入率のアップ	加入率のアップ
達成率・評価		— —	— A			

【目標設定の考え方】※1：減少傾向を続ける実績を踏まえ、今後も減少傾向の維持を目指す

※2：結果（H28.6月実施）を踏まえ、更なる加入率アップを目指す

8 (拡) ネットワーク化による交番・駐在所機能の高度化 (警察) 15,461 千円

地域警察活動の拠点となる交番をネットワーク化し、県民の体感治安等を向上

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
拠点交番ネットワ ーク率	3.0% (4カ所) (H26)	—	100% (134カ所)			
達成率・評価		—				

【目標設定の考え方】全交番・駐在所 701カ所のうち、未整備の拠点交番 130カ所を優先整備(他 4カ所は H26 整備済)

基本目標 7-(1)⑤ 快適なまちなみ空間の形成

総括 KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (目標達成年度)
人口集中地区にお ける緑地率	23.3% (H25年度)	—	—	—	—	—	24.2%
達成率・評価		—					

【目標設定の考え方】10年間(H28~37年度)で緑地率 25%(約 1,000ha 増)を目指し「ひょうご花緑創造プラン」の中間見直し時期 H32 年度の目標を 24.2%に設定

1 (拡) 県民まちなみ緑化事業 (まちづくり) 640,000 千円

都市地域における環境の改善や防災性の向上等を図るため、県民緑税を活用して、住民団体等が実施する植樹や芝生化等の緑化活動を支援

○対象地域 市街化区域及び緑条例のまちの区域等

(校園庭の芝生化は全県、大規模都心緑化は人口集中地区内の駅周辺が対象)

○事業概要 一般緑化、(拡) 校園庭の芝生化(初期施設等費用加算)、ひろばの芝生化、駐車場の芝生化、屋上緑化、壁面緑化、(新) 大規模都心緑化

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (目標達成年度)
県民まちなみ緑化 事業による住民団 体の緑化活動支援 団体数 ※1	1,209団体 (H18~26年度累計)	—	120団体	240団体	360団体	480団体	600団体
達成率・評価		—					
県民まちなみ緑化 事業による校園庭 の芝生化補助件数 ※2	302件 (H18~26年度累計)	—	50件	100件	150件	200件	250件
達成率・評価		—					

【目標設定の考え方】

※1：実績を踏まえ、H28~32年度で活動支援団体数 600 団体を目標とし、H28 年度目標を 120 団体に設定

※2：全国最高水準レベルを目指し、H28~32年度で 250 件の校園庭の芝生化を目標とし、H28 年度目標を 50 件に設定

2 景観形成支援事業（まちづくり）56,000千円

優れた景観の創造・保全を図るため、景観形成に資する建築物等の外観修景等に係る工事費を助成するほか、修景相談等を行う景観まちづくりアドバイザーの派遣、景観支障建築物等の解消に係る助成等を行う。

○事業内容

- ・歴史的景観形成建築物等修景助成
- ・景観まちづくりアドバイザー派遣
- ・景観まちづくり活動助成
- ・景観支障建築物等除却・改修費助成 等

○対象者 建築物所有者、住民団体 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
景観条例により指定された 地区・地域における建築物 等の外観修景に係る支援等 を行う景観形成支援事業の 実績件数		30件	30件	30件	30件	30件
	30件 (H26)	29件				
達成率・評価		96.7%				
		B				

【目標設定の考え方】実績を踏まえ、支援実績毎年30件を目標に設定

3 福祉のまちづくりの推進（まちづくり）61,997千円

高齢者、障害者等がいきいきと生活できる福祉のまちづくりを推進するため、福祉のまちづくり条例・規則に基づき、障害者等の参画と協働によるバリアフリー整備等を進めるとともに、規則で定める基準を周知・徹底（チェック&アドバイス、ひょうご県民ユニバーサル施設認定制度の運用）

公共交通のバリアフリー化を促進するため、鉄道駅舎のバリアフリー化とノンステップバスの導入を促進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (目標達成年度)
鉄道駅のバリアフリー化率※1 (1日の平均乗降客数3千人以上5千人未満駅)		70%	74%	81%	87%	93%	100%
	55.8% (H25)	70%					
達成率・評価		100.0%					
		A					
乗合バスに対するノンステップバス導入率 ※2		60%	62%	64%	66%	68%	70%
	56.6% (H25)	58%					
達成率・評価		96.7%					
		B					
ひょうご県民ユニバーサル施設の認定数 ※3		10件	16件	22件	28件	34件	40件
	10件 (H27)	10件					
達成率・評価		100.0%					
		A	—				

【目標設定の考え方】※1：H32年度末100%達成に向けて、毎年度6%程度の改善が図られていくよう目標を設定

※2：H32年度末70%達成に向けて、毎年度2%程度の改善が図られていくよう目標を設定

※3：H32年度末40件達成に向けて、毎年度の認定件数6件を目標に設定

4 建築物による環境への負荷の低減

(1) 長期優良住宅建築等計画認定事業（まちづくり）7,479千円

長期にわたり良好な状態で使用するための措置がその構造及び設備について講じられた優良な住宅の普及を促進するため、長期優良住宅建築等計画の認定を行うとともに、都市機能の集約化や建築物の低炭素化を促進して都市の低炭素化を図るため、低炭素建築物新築等計画を認定

(2) 建築物環境総合性能評価システム（CASBEE）の実施（まちづくり）

『環境の保全と創造に関する条例』に基づき、延べ面積 2,000 m²を超える建築物を新築等する場合、建築物総合環境性能評価システム（CASBEE）を用いた計画の作成と届出を義務付け

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
長期優良住宅建築等計画、低炭素建築物建築等計画認定件数	29,100件 (H26)	34,100件	39,100件	44,100件	49,100件	54,000件
達成率・評価		100.8% A				

【目標設定の考え方】実績を踏まえ毎年度認定件数 5,000 件を目指し、H28 目標を 39,100 件に設定

基本目標 7-(1)⑥ 多文化共生社会の実現

総括KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
住んでいる市町は外国人にも住みやすくなっていると思う人の割合 ※1	13.9%(H26年)	20%を上回る 18.5%	20%を上回る	20%を上回る	20%を上回る	20%を上回る
達成率・評価		92.0% B				
日本語指導を必要とする外国人児童生徒が5名以上在籍する小中学校に支援員を派遣する市町数 ※2	—	—	3市町	3市町	4市町	4市町
達成率・評価		—				

【目標設定の考え方】 ※1：過去最高の実績（平成 26 年：13.9%）を上回る

※2：日本語指導が必要な外国人児童生徒の 50%への指導を目指し、H28 年度は 42.9%に設定

1 医療通訳派遣制度事業（産業労働）2,000千円

一定レベル以上の知識を持った医療通訳を派遣する制度の確立を目指し、医療機関への普及啓発、医療従事者、医療通訳者へ研修等を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
医療通訳派遣件数	162件/年 (H26)	150件/年 299件/年	150件/年	150件/年	150件/年	150件/年
達成率・評価		199.3% A				

【目標設定の考え方】実績を踏まえ 150 件/年の医療通訳派遣を継続

2 外国人県民の居場所づくり（地域日本語教室支援事業）（産業労働）6,750千円

地域の日本語教室は、外国人県民が定期的集まる場所として定着していることから、ボランティア団体等が行う日本語教室等を支援し、外国人県民が地域で安全に安心して暮らせるための拠点作りを推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
開設講座数		45 講座	45 講座	45 講座	45 講座	45 講座
	42 講座 (H26)	45 講座				
達成率・評価		100.0%				
		A				

【目標設定の考え方】実績を踏まえ 45 講座/年を継続

3 外国人県民インフォメーションセンターの運営（産業労働）27,762千円

日本語を理解できない外国人県民等に対し、即時解決型の相談、行政情報等を提供するため、外国人県民インフォメーションセンターを運営

○相談対応言語：4言語（英、中、西（スペイン）、葡（ポルトガル））

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
相談件数		2,800 件/年	2,800 件/年	2,800 件/年	2,800 件/年	2,800 件/年
	3,100 件/年 (H26)	2,875 件/年				
達成率・評価		102.7%				
		A				

【目標設定の考え方】実績を踏まえ 2,800 件/年の維持を目標に設定

4 市町・NGOと連携した外国人県民相談の実施（産業労働）2,640千円

外国人県民が安全で安心して生活できる環境づくりを進めるため、NGOと連携して県内各地において外国人県民に対する夜間相談等を実施

○相談対応言語：4言語（英、中、西（スペイン）、葡（ポルトガル））

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
相談件数		300 件/年	300 件/年	300 件/年	300 件/年	300 件/年
	327 件/年 (H26)	313 件/年				
達成率・評価		104.3%				
		A				

【目標設定の考え方】実績を踏まえ 300 件/年の維持を目標に設定

5 外国人県民日本語講座の開催（産業労働）3,397千円

外国人県民の生活に必要な日本語能力向上のため、夜間に日本語が学べる講座を開設

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
開催講座数		7 クラス	6 クラス	6 クラス	6 クラス	6 クラス
	7 クラス (H27)	7 クラス				
達成率・評価		100.0%				
		A				

【目標設定の考え方】県内在住外国人の生活に必要な日本語能力向上のため、初級者向け日本語講座 6 クラスを開設

6 母語教育支援研修会の開催（産業労働）314 千円

母語の学習は、アイデンティティの確立や精神的安定が得られるなど、外国にルーツを持つ子どもに大きな効果があるため、ボランティア等母語教育関係者を対象にした研修会を年1回開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
母語教育関係者の 参加者数	38人 (H26)	40人以上 39人	40人以上	40人以上	40人以上	40人以上
達成率・評価		97.5% B				

【目標設定の考え方】外国人児童生徒の増加を踏まえ、毎年若干名ずつ参加者を増加

7 ひょうごホームステイ受入事業（産業労働）1,137 千円

県民と兵庫を訪れる外国人の異文化理解を深めるため、外国人青少年にホームステイの機会を提供するなど、県全体のホームステイ受入を総合コーディネート

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
ホームステイ受入 人数	130人/年 (H27)	200人/年 以上 130人/年	200人/年 以上	200人/年 以上	200人/年 以上	200人/年 以上
達成率・評価		65.0% D				

【目標設定の考え方】実績を踏まえ、200人/年以上の受入を維持

【KPI未達成の理由等】県内家庭へのホームステイ希望が少なかった結果であり、留学生等への周知を図る

8 帰国・外国人児童生徒支援事業（教育委員会）899 千円

外国人児童生徒等が集住する地域における就学支援の成果をふまえ、県と市町が連携しながら外国人児童生徒等が散在する地域における受入促進及び日本語指導の充実支援体制の整備について実践的に研究を推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
希望市町に対する事業 採択	3市町 (H27)	3市町 3市町	4市町	4市町	4市町	4市町
達成率・評価		100.0% A				

【目標設定の考え方】28年度の実施見込み4市町を維持

9 子ども多文化共生センターの運営（教育委員会）387 千円

子ども多文化共生教育を推進するため、多文化共生にかかわる人材や情報を一元化し、研修や交流などの機能を有するセンターを運営

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
子ども多文化共生ボラ ンティアの登録人数	300人 (H26)	330人 359人	360人	390人	420人	450人
達成率・評価		108.8% A				

【目標設定の考え方】日本語指導が必要な外国人児童生徒の増加を踏まえ、毎年30人ずつボランティア登録者を増加

10 子ども多文化共生サポーター派遣事業（教育委員会）99,776千円

学校生活への早期適応を促すため、日本語指導が必要な外国人児童生徒が在籍するすべての学校に、当該児童生徒の母語を話せる「子ども多文化共生サポーター」を配置し、学習を支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
日本語指導が必要な外国人児童生徒が在籍する公立学校への子ども多文化共生サポーターの派遣校数(県費負担が生じない神戸市を除く)	274校 (H27)	274校	280校	285校	290校	295校
達成率・評価		100.0% A				

【目標設定の考え方】日本語指導が必要な外国人児童生徒の増加を踏まえ、毎年5校ずつ派遣校を増加

11 (新)日本語指導支援推進校事業（教育委員会）4,682千円

渡日間もない外国人児童生徒の日本語(生活言語、学習言語)の習得と基礎学力の定着を図るため、別室や放課後における日本語指導を推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
日本語指導を必要とする外国人児童生徒が5名以上在籍する小中学校に支援員を派遣する市町数	—	—	3市町	3市町	4市町	4市町
達成率・評価		—				

【目標設定の考え方】日本語指導が必要な外国人児童生徒の増加を踏まえ、事業実施が想定される市町数

12 (新)高等学校特別入学モデル校事業（教育委員会）11,955千円

日本語やコミュニケーション能力が不十分で進学が困難な外国人生徒の学習機会を充実するため、特別枠選抜及び入学後の支援をモデル実施し、入学者選抜方法や指導方法の研究開発を推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
特別枠での外国人生徒入学者数	—	—	9人 7人	9人	9人	—
達成率・評価		—				

【目標設定の考え方】モデル事業として日本語能力が十分ではないが学習意欲の高い外国人生徒の特別選抜枠を3校(各3人)で設定し、その状況を元にH31年度以降の目標設定をする。

(2) 豊かな環境の保全と創造

変化に富んだ自然環境に恵まれる本県において、良好な生物生息環境の保全・回復を進めるとともに、人と野生動物との調和のとれた共存を目指す。

また、環境先進県・兵庫として、再生可能エネルギーの導入を拡大するなど、温室効果ガスの排出の少ない社会構造を実現する。

【主要事業の概要および KPI】

基本目標 7-(2)① 自然再生の推進

(上段：目標、下段：実績)

総括KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
お住まいの市・町の自然環境は守られていると思う人の割合		45.4%	49.1%	52.8%	56.5%	60%を上回る
	45.4% (H27年)	45.4%				
達成率・評価		100.0% A				

【目標設定の考え方】過去最高(H22：55.2%)を上回る60%(H31)を目指し、毎年3.7%引上げ、平成28年度目標を49.1%に設定

1 「森林管理100%作戦」の推進（農政環境）65,248千円

(緑化基金、交付先団体：(公社)兵庫みどり公社)

森林が持つ多面的機能を発揮させるため、国の公共造林事業等による間伐及び作業道開設の補助残額に対し、県・市町が連携して公的負担を実施

○事業期間 H24～33年度

○整備計画 間伐67,800ha、森林間伐道850km 整備プラン 作業道850km

H26年度までに整備した作業道360kmに加え、490kmを追加し、間伐面積の拡大を図り、森林管理を徹底

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H33年度 (目標達成年度)
間伐面積(累計)		138,900ha	144,900ha	150,900ha	156,900ha	163,000ha	175,000ha
	116,875ha (H26)	120,891ha					
達成率・評価		87.0% C					

【目標設定の考え方】「新ひょうごの森づくり 第2期対策」に基づく間伐面積67,800ha(H24→H33)を達成するため毎年6,000haの間伐を実施し、平成28年度目標を144,900haに設定

【KPI未達成の理由等】奥地条件不利地での切捨間伐が遅れているため。間伐促進のための作業道の開設を引き続き支援する

2 県民総参加の森づくり促進事業（農政環境）1,776千円

(委託料 776千円、委託先団体：(特非)ひょうご森の倶楽部)

県民に森林への関心や保全の大切さを理解してもらうため、森林ボランティアの育成や次代のリーダーを養成

○事業内容 「ひょうご森のまつり」の開催、森林ボランティア・リーダー養成講座の開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
森林ボランティアリーダー数(累計)		700人	750人	800人	850人	900人
	688人(H26)	712人				
達成率・評価		101.7% A				

【目標設定の考え方】900人育成(H31)を目指して、毎年50人育成し、平成28年度目標を750人に設定

3 企業の森づくり推進事業（農政環境）1,992千円

（緑化基金、交付先団体：（公社）兵庫みどり公社）

多様な主体による森づくりを推進するため、企業が社会貢献活動の一環として、所有者に代わって行う森林整備保全活動の支援

○実施主体 （公社）兵庫県緑化推進協会

○事業内容 活動フィールド・専門家の斡旋、活動計画への助言、企業向け取組マニュアル作成等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
協定締結企業数 (累計)		38社	40社	—	—	—
	27社 (H26)	31社				
達成率・評価		81.6%				
		C				

【目標設定の考え方】 H28年度以降に改めて設定

【KPI未達成の理由等】 活動を希望する企業の取組内容に応じた活動適地の選定に日時を要した。企業の森づくりを共に進める県緑化推進協会と連携し、各企業からの要望や活動適地の情報提供に迅速に対応する

4 里山林整備の推進（農政環境）1,015,669千円（県民緑基金 1,000,369千円

緑化基金 15,300千円 交付先団体：（公社）兵庫みどり公社）

森林が持つ多面的機能を発揮させるため、生活様式の変化等に伴い放置され公益的機能が低下した里山林について、公的関与による森林管理や森づくり活動等を推進

○事業内容 広葉樹林や放置竹林の整備、地域住民等が自ら行う森林整備や植生保護柵の設置等に対して資機材等を支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
里山林整備面積 (累計)		22,700ha	23,900ha	24,900ha	26,000ha	27,000ha
	22,273ha (H26)	23,557ha				
達成率・評価		103.8%				
		A				

【目標設定の考え方】 整備面積27,000ha (H31) を目指し、平成28年度目標を23,900haに設定

5 シカ・イノシシの有害捕獲・被害防除

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
シカ捕獲頭数 ※1		35,000頭/年	45,000頭/年	45,000頭/年	45,000頭/年	45,000頭/年
	45,461頭/年 (H26)	45,569頭/年				
達成率・評価		130.2%				
		A				
イノシシ捕獲 頭数 ※2		—	15,000頭/年	15,000頭/年	15,000頭/年	15,000頭/年
	17,186頭/年 (H26)	19,061頭/年				
達成率・評価		—				
		—				

【目標設定の考え方】 ※1：シカ 早期に目撃効率1.0以下を達成するため、H28年度から捕獲目標を45,000頭に拡大

※2：イノシシ 毎年の捕獲実績を勘案し、H28年度から捕獲目標15,000頭を設定

(1) (拡)シカ捕獲総合対策の実施(農政環境) 256,971千円

農林業被害を軽減するため、広域的なシカ捕獲対策を実施

事業名	概要	実施期間	捕獲目標
シカ有害捕獲促進支援事業	シカの分布拡大防止等のための一斉捕獲を広域的に実施	4/1~11/14 3/16~3/31	6,000頭 (5,000頭)
シカ有害捕獲専任班支援事業	狩猟技能に秀でた狩猟者で構成された狩猟班による効率的な捕獲活動を支援	狩猟期間は鳥獣保護区のみ可能	3,000頭 (3,000頭)
狩猟期シカ捕獲拡大事業	狩猟期間に行うシカ捕獲に対し捕獲頭数に応じた報償金を支給	11/15~3/15 (狩猟期間)	25,000頭 (20,000頭)
市町による有害鳥獣捕獲	農林業被害の防止に向けた市町による捕獲	通年	11,000頭 (7,000頭)
ストップ・ザ・獣害	捕獲指導員等による集落指導の強化及び防護柵設置の技術指導等	通年	
合計			45,000頭 (35,000頭)

() 書きはH27年度

(2) (新)イノシシ生活被害防止対策事業(農政環境) 3,503千円

生活被害等を軽減するため、六甲山系など被害が拡大・増加している地区を対象に、地元猟友会による加害イノシシ等の捕獲を支援

- イノシシ生活被害防止対策(2,760千円)
- イノシシ対策指導(743千円)

森林動物研究センターが、市、猟友会、地元関係者に対し捕獲方法や出沒対策に関する指導を実施

6 野生動物侵入防護柵の設置事業(農政環境) 537,171千円

鳥獣による農作物の被害防止を強化するため、国の鳥獣被害防止総合対策事業及び県単独事業の野生動物防護柵集落連携設置事業を活用して防護柵の設置等を支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
防護柵設置延長 (累計)	7,018km (累計)	7,500km 7,478km	8,000km	8,500km	9,000km	9,500km
達成率・評価		99.7% B				

【目標設定の考え方】設置延長9,500km(H31)を目指し、平成28年度目標を8,000kmに設定

7 特定外来生物対策(農政環境) 14,000千円

外来生物による農業被害、生活環境被害の低減を図るため、捕獲及び処分経費に対し助成

- 対象経費 アライグマ、ヌートリアの捕獲、安楽死等処分費

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
アライグマ・ヌートリア捕獲数	6,052頭/年 (H26)	7,000頭/年 5,809頭/年	7,000頭/年	7,000頭/年	7,000頭/年	7,000頭/年
達成率・評価		83.0% C				

【目標設定の考え方】毎年の捕獲実績を勘案し、捕獲目標を7,000頭に設定

【KPI未達成の理由等】農業被害の軽減効果が発生する5千頭以上の捕獲は達成できたが、集落や農地への出沒状況から、結果として目標の7千頭を下回った。農業被害地での捕獲・排除を継続して推進するとともに、集落との参画を得た監視、迅速かつ効果的な捕獲を進める

8 有害鳥獣捕獲狩猟者育成プロジェクト（農政環境）12,207千円

安定的な有害鳥獣捕獲実施体制の構築を推進するため、将来にわたり有害鳥獣捕獲に従事しようとする者を対象とした研修等を支援

○有害鳥獣捕獲入門講座運営（新人の育成）（10,607千円）

新たに有害鳥獣捕獲活動に従事する者を対象に、入門講座を運営

○(拡)有害鳥獣捕獲実践研修（中堅の育成）（1,600千円）

狩猟免許を所有し、一定の捕獲経験のある者等に対して、熟練狩猟者によるマンツーマン技術指導を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
有害鳥獣捕獲班員 (銃)育成人数(累計)	20人(H26)	48人 68人	115人	163人	210人	230人
達成率・評価		141.7% A				

【目標設定の考え方】H31年までに230人の育成を目指し、段階的に増加させ、H28年度目標を115人に設定

9 シカの有効活用

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
シカの処理頭数	2,317頭/年 (H26)	— 3,390頭/年	5,000頭/年	5,000頭/年	5,000頭/年	5,000頭/年
達成率・評価		— —				

【目標設定の考え方】目撃効率1.0以下になった際の生息数を維持するのに必要な捕獲頭数の概ね1/3を処理目標として設定

(1) シカ丸ごと1頭活用大作戦（農政環境）22,774千円

シカの捕獲数を増やすとともに消費拡大につなげるため、シカ肉の有効活用を推進

○シカ肉処理加工施設への搬入支援（728千円）

狩猟者が捕獲したシカを、シカ肉処理加工施設やストックポイントに搬入する運搬費に対し、市町が行う補助に必要な経費を支援

○(新)シカ肉処理加工施設の回収支援（618千円）

捕獲したシカをシカ処理加工施設が回収するための経費に対して支援

○冷凍・冷蔵車の導入支援（428千円）

狩猟者が捕獲したシカの運搬に使用する冷凍・冷蔵車のリース代・購入費の一部を助成

○ストックポイント（コンテナ型）の整備支援（1,000千円）

ストックポイントとして設置するコンテナ型冷凍・冷蔵庫の購入経費を支援

○(新)ストックポイント（一時処理型）の整備支援（16,500千円）

捕獲したシカの内臓を除去し、肉質を保つための一次処理施設の整備を支援

○「ひょうごニホンジカ推進ネットワーク」への支援（1,500千円）

ネットワークが実施するシカ肉のPR活動や皮・角等の活用方策の検討、業者マッチング等の活動を支援

○(新)シカ肉・シカ皮等のマーケティング調査 (2,000 千円)

捕獲から販売流通ルートの確立と新たな需要の創出に向け、ネットワーク等を活用してマーケティング調査を実施

(2) シカ肉処理加工施設整備等支援事業 (農政環境) 33,000 千円

市町が整備するシカ肉の処理加工施設やストックポイント (一次処理型) について、国の鳥獣被害防止総合対策交付金及び県費により支援

10 豊かで美しい瀬戸内海の創生 (農政環境) 2,700 千円

豊かな海を実現するため、新たな藻場等の再生・創出及び調査活動等の実践活動を支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (目標達成年度)
藻場等の再生創 出面積 (累計)	—	—	250m ²	500m ²	750m ²	1,000m ²	1,250m ²
達成率・評価	—	—	—	—	—	—	—

【目標設定の考え方】 実践活動による再生創出可能面積を踏まえ、1,250m² (H32) を目指し、平成28年度目標を250m²に設定

11 (拡)豊かな瀬戸内海再生調査事業 (農政環境) 9,310 千円

瀬戸内海を水質が良好な状態で維持されるとともに、生物の多様性、生産性が確保されるなどその価値及び機能が発揮された「豊かな海」とすることを目指し、総合的な調査を支援

○イカナゴ餌生物調査・統計調査 (3,754 千円)

○(新)イカナゴ生態系モデル構築のための調査 (5,556 千円)

目指すべき栄養塩環境を把握するため、シミュレーション調査等を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
イカナゴ漁獲量	11千t(H21~H25平均)	11千t/年	11千t/年	11千t/年	11千t/年	11千t/年
達成率・評価	—	90.9%	—	—	—	—
		B				

【目標設定の考え方】 漁獲量11千tを維持

12 ノリ品種の特性把握と品質向上推進 (農政環境) 2,090 千円

兵庫ノリの品質向上を図るため、漁場の栄養塩環境やノリ品種の特性を適正に把握し、環境にあった株配合や作付けを適正に行う取組を支援

○事業内容

- ・ノリ漁場の栄養塩・水温モニタリングを実施し、漁業者に周知
- ・ノリ品種の特性や海域環境にあわせた養殖技術向上研修を実施
- ・ノリ品種の特性把握、株配合の最適化を通じて、兵庫ノリの品質向上を推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
ノリ養殖生産額	90億円/年 (H25)	105億円/年 H29.3公表	110億円/年	115億円/年	120億円/年	120億円/年
達成率・評価	—	—	—	—	—	—

【目標設定の考え方】 過去10年の平均生産額程度の維持 (H31:120億円) を目指し、毎年5億円増加させ、H28年度目標を110億円に設定

基本目標 7-(2)② 低炭素な地域づくり

総括 KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (目標達成年度)
2020 年度に温室 効果ガス排出量 (2005 年度比)	3.3%削減 (H24 年度)	4.2%減 H30.2 公表	4.5%減	4.8%減	5.2%減	5.6%減	6.0%減
達成率・評価							

【目標設定の考え方】温室効果ガス排出量 6%削減 (H32) を目指し、毎年 0.4%程度引上げ、平成 28 年度目標を 4.5%に設定

1 (新)「パリ協定」による対策強化 (農政環境) 5,730 千円

国の新たな温室効果ガス削減目標が示されたことを踏まえ、本県における 2030 年度に向けた温室効果ガス削減目標に係る調査・普及啓発を実施

- 2030 年度温室効果ガス削減目標に係る推計調査
- 「ひょうごスマートライフマイスター」の認定
 - ・対象者 地域の家電販売店員
 - ・業務 県民に省エネ情報を提供
- 家庭で実施できる省エネ等の取組について啓発用動画を作成
- 業務部門に特化した省エネ対策情報を提供するセミナーを実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
スマートライフマイスター認 定数	—	—	250 人	—	—	—
達成率・評価		—				

【目標設定の考え方】H28 年度に認定講座を実施し、講座修了者数の目標を 250 人に設定

2 温室効果ガス排出抑制条例施行費 (農政環境) 221 千円

温室効果ガスの排出を削減するため、温室効果ガスを排出する一定規模以上の事業者から提出された排出抑制計画及び措置結果報告のとりまとめを行い公表し、適切な指導を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
事業所指導件数	10 件/年 (H27)	10 件/年 12 件/年	10 件/年	10 件/年	10 件/年	10 件/年
達成率・評価		120.0% A				

【目標設定の考え方】毎年事業所を 10 件指導

3 うちエコ診断の推進 (農政環境) 2,264 千円 (環境保全基金)

((公財) ひょうご環境創造協会に委託：委託料 2,264 千円)

家庭部門からの CO₂ 排出削減を図るため、ライフスタイルに応じた対策を提案する「うちエコ診断」を実施

- うちエコ集団・個別診断 (1,253 千円)
 - 診断士が地域の公民館や企業の会議室等での集団診断や家庭での個別診断を実施

○融資制度利用者に対する診断 (1,011 千円)

住宅用創エネルギー・省エネルギー設備設置特別融資制度の借入要件

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (目標達成年度)
「うちエコ診断」 実施数(累計)	4,284件 (H26)	5,000件 4,975件	6,000件	7,000件	8,000件	9,000件	10,000件
達成率・評価		99.5% B					

【目標設定の考え方】診断実施10,000件(H32)を目指し、毎年1,000件増加させ、平成28年度目標を6,000件に設定

4 低公害車導入補助事業(農政環境)8,785千円

大気環境の改善を図るため、低公害車の導入を支援

○対象者 法人・個人事業者(白ナンバー)に補助する市町

○対象車種 電気、燃料電池等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
県内新規登録車(乗用車)に おけるEV、FCVなど次世代自 動車の割合	22.1%(H26)	24.3% H28.11 公表	26.5%	28.7%	30.9%	33.1%
達成率・評価						

【目標設定の考え方】次世代自動車導入33.1%(H31)を目指し、毎年2.2%引上げ、平成28年度目標を26.5%に設定

5 地域の再生エネルギー導入促進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
再生可能エネルギー導入 集落数(累計)	12集落 (H26)	28集落 30集落	44集落	60集落	75集落	90集落
達成率・評価		107.1% A				

【目標設定の考え方】導入集落数90集落(H31)を目指し、平成28年度目標を44集落に設定

(1) 地域主導型再生可能エネルギー導入促進事業(農政環境)100,235千円

(県債管理基金(融資枠)100,000千円、県予算(審査会設置・運営費)235千円)

再生可能エネルギー導入を促進するため、発電設備を新たに導入する地域の団体に対し、設備導入に必要な経費の一部を(公財)ひょうご環境創造協会が無利子貸付を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
事業採択件数	5件/年(H26)	10件/年 4件/年	10件/年	10件/年	10件/年	10件/年
達成率・評価		40.0% D				

【目標設定の考え方】毎年度10件の事業採択を目指す。

【KPI未達成の理由等】固定価格買取制度(FIT)の買取単価下落等により申請件数が減少したため。事業の周知徹底を図り、地域資源の掘り起こしを行うとともに、きめ細やかな相談対応を行うなど、興味を持った団体が事業を具体化する際の支援を充実させる

(2) 住民協働による小水力発電プロジェクト推進事業（農政環境）6,617 千円

安定した発電量や収益が見込め、地域活性化につながる小水力発電の導入等を支援

○立ち上げ時の取組支援

- ・事業内容 勉強会、現地調査、先進地視察等

○基本調査・概略設計等補助

- ・事業内容 流況調査、測量調査、既存設備劣化診断等

(3) エネルギー自立のむらづくり支援事業（企画県民）25,393 千円

多自然地域の集落(概ね 50 世帯程度)において、大規模災害時にも電力自給が可能なエネルギー自立のむらづくりを進めるため、再生可能エネルギーによる非常用電源導入に係る経費を支援

○事業内容

- ・非常用電源導入補助（補助限度額 5,000 千円、補助率 1/2）
- ・非常用電源導入費用無利子貸付（貸付限度額 50,000 千円、貸付期間 20 年以内）

(4) 再生可能エネルギー相談支援センターの運営（農政環境）5,485 千円

（環境保全基金 3,003 千円、県予算 2,482 千円）

（（公財）ひょうご環境創造協会に委託：委託料 5,117 千円）

再生可能エネルギーの導入促進及び省エネルギーの推進を図るため、設備の導入等に関する相談窓口を運営（設置場所 ひょうご環境創造協会）

- ・技術的な助言や指導、電気等の専門家の派遣を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
コンサルタント派遣件数	89 件/年 (H26)	100 件/年 66 件/年	100 件/年	100 件	100 件	100 件
達成率・評価		66.0%/年 D				

【目標設定の考え方】 毎年度 100 件のコンサル派遣を目指す

【KPI 未達成の理由等】 固定価格買取制度（FIT）の買取単価下落等により申請件数が減少したため。制度の周知徹底を図るとともに、太陽光発電以外の再エネや、省エネに関する相談にも積極的に派遣を行う

6 住宅用創エネルギー・省エネルギー設備設置特別融資の実施（農政環境）3,771,387 千円

（融資枠 46 億円）

創エネルギー・省エネルギー設備の普及を図るため、住宅への創エネルギー・省エネルギー設備の導入に対し、低利な融資を実施

○対象設備 住宅用太陽光発電設備、家庭用燃料電池、家庭用蓄電池等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
融資件数（累計）	1,158 件 (H26 末)	1,250 件 1,239 件	1,350 件	1,450 件	1,550 件	1,650 件
達成率・評価		99.1% B				

【目標設定の考え方】 設備導入のニーズを踏まえ、1,650 件の融資枠を設定（H31）し、毎年 100 件増加させ、平成 28 年度目標を 1,350 件に設定